

第2次肝付町総合振興計画

2nd Kimotsuki Master Plan

概要版

人そして地域活力の創出による
“地域力あふれる町” 肝付町



平成28年10月
鹿児島県肝付町

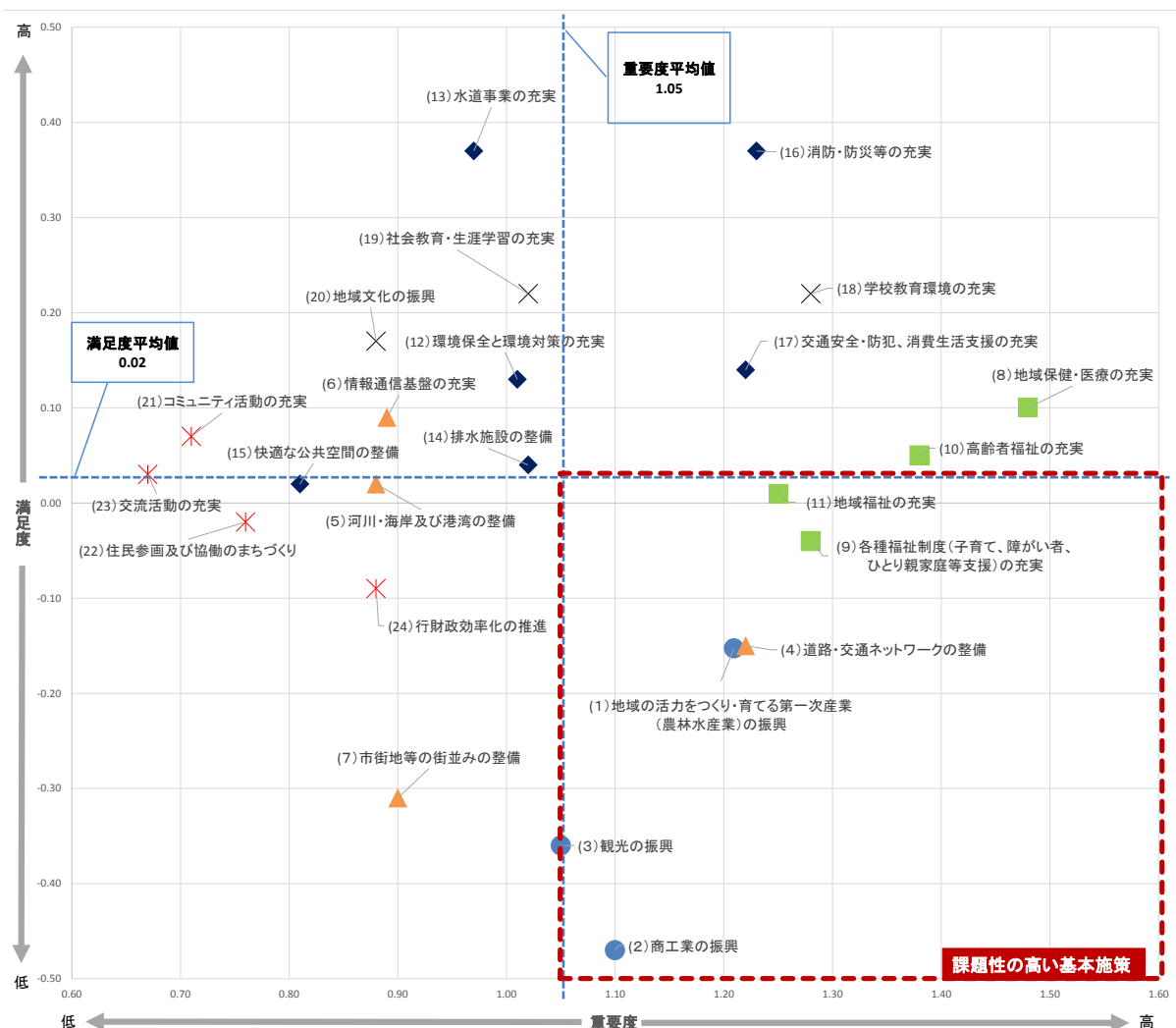
2. まちづくりに対する住民意識

住民アンケートでは、第1次総合計画に位置づけられている基本施策について重要度、満足度の加重平均値に基づき分析を行いました。

重要度が高いと評価されている施策の上位5つは、「地域保健・医療の充実」、「各種福祉制度（子育て、障がい者、ひとり親家庭等支援）の充実」、「高齢者福祉の充実」、「学校教育環境の充実」、「地域福祉の充実」であり、医療・福祉、教育施策が上位を占めています。

課題性の高い施策（平均より重要度が高く、満足度が低い施策、下図の赤枠部分）は、「地域の活力をつくり・育てる第一次産業（農林水産業）の振興」、「道路・交通ネットワークの整備」、「商工業の振興」、「観光の振興」、「各種福祉制度（子育て、障がい者、ひとり親家庭等支援）の充実」、「地域福祉の充実」の6つの施策があげられています。

■ 第1次総合計画の基本施策における住民の重要度と満足度の相関関係



【加重平均の算出方法】

- ①まちづくりにおける重要度
 とても重要：2点
 やや重要：1点
 どちらともいえない：0点
 あまり重要でない：-1点
 全く重要でない：-2点

- ②現状の満足度
 とても満足している：2点
 やや満足している：1点
 どちらともいえない：0点
 あまり満足していない：-1点
 全く満足していない：-2点

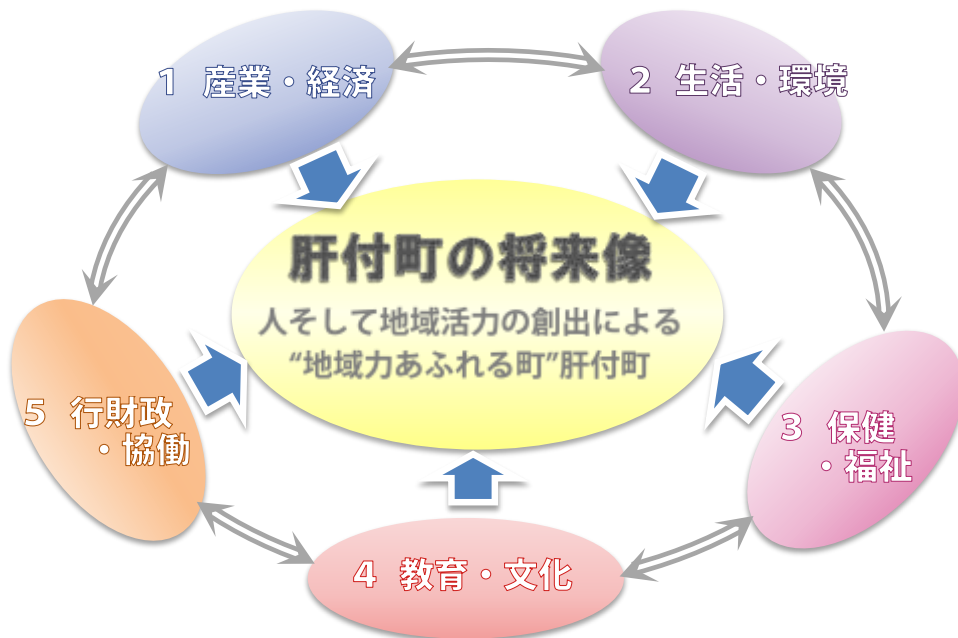
左記の点数に各選択肢の回答数を掛け、それらを合計して、全体の回答数で割り戻して「加重平均値」を算出

3. まちづくりの将来像と人口目標

1. まちづくりの将来像

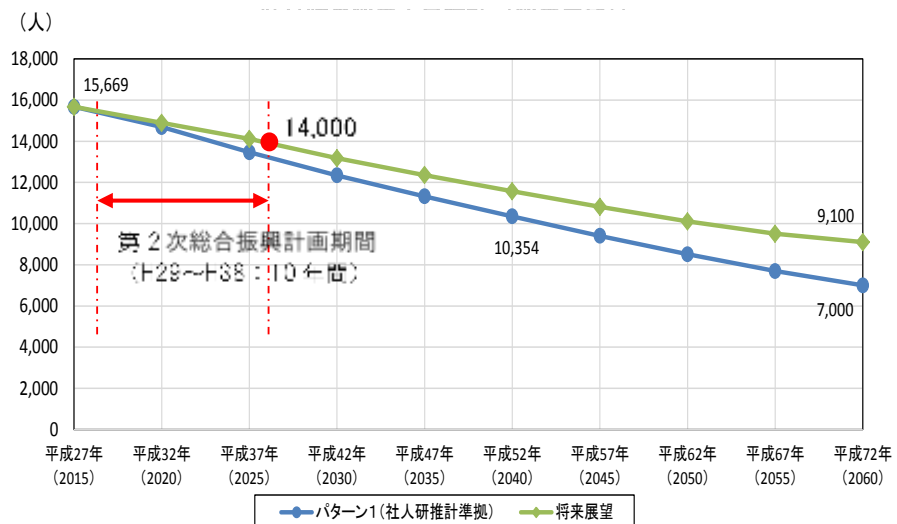
本町は、海・山・大地からなる多様な地理的特性を持ち、この豊かな自然環境を生かした農林水産業を基幹産業として特色ある産品を生産しています。また、歴史的資産や自然資産のほか、我が国に2か所しかないロケット発射場を有する内之浦宇宙空間観測所が立地しています。一方で、地方の人口減少・少子高齢化の進行による地域活力の低下や地域コミュニティ存続が懸念されています。

そこで、地域の産業・経済の振興、生活環境の維持・効率化や災害への対処、高齢者・障がい者等の生活や子育ての支援、地域の歴史や個性を大切にされた教育や文化の振興、住民との協働による効率的な行財政運営を進めることとし、『人そして地域活力の創出による“地域力あふれる町”肝付町』を将来像として掲げます。



2. 将来人口の目標

第2次総合計画の目標年次である平成38年の目標人口を14,000人として設定します。



4. 基本目標

基本目標① 経済・産業

～地域資源のブランド化と融合により、新たな活力を創生するまちづくり～

農林水産業の後継者の育成・確保や特産品開発・高付加価値化、新しい流通体系の構築、地産地消の取り組み、きめ細かな商工業振興策を進めます。

また、大隅地域全体での広域観光連携強化を進めるとともに、各地域にある資源を活用した地域発信型の観光振興等や、ロケット射場が立地するという特徴を活かした宇宙のまちづくりや、多様な自然資源を利用した再生可能エネルギーの活用を推進し、資源を活かした産業育成を図ります。

基本目標② 生活環境

～人が行き交い、自然と共生する、笑顔あふれるまちづくり～

広域交通網の整備や、生活・産業インフラの効率的な整備を計画的に進め、中山間地域においては、日常的な買い物場や公共交通手段等の確保を図ります。自然災害への対応のため、地域コミュニティと行政、民間事業者が一体となった防災活動組織の強化します。また、空き地、空き家等の活用システムづくりを進め、定住人口の維持・拡大を図ります。豊かな自然環境を観光・レジャーの面から積極的に活用するとともに、資源循環型のまちづくりを推進します。

基本目標③ 保健・福祉

～地域が一体となって支え合う健やかで安心なまちづくり～

婚活事業の工夫や、安心して出産でき、子育て世代への経済的支援の強化やなど総合的に支援するシステムの導入などを進めるほか、福祉制度の充実を図るとともに、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を図ります。また、鹿屋市を中心とした広域連携を踏まえた体制の充実や、健康づくりや生活習慣予防を促進し、心身ともに健康な状態で暮らすための様々な取り組みを実施します。

基本目標④ 教育・文化

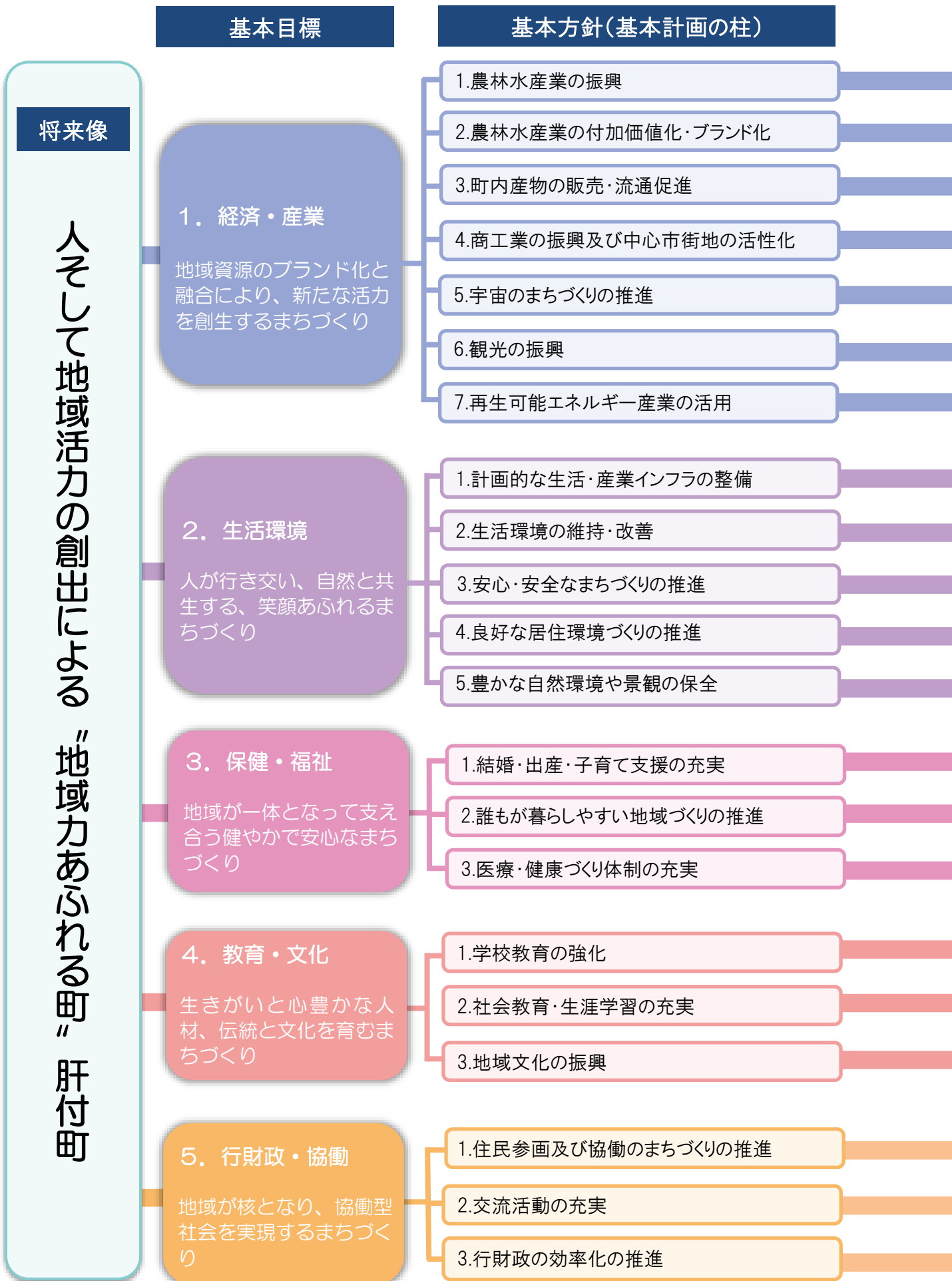
～生きがいと心豊かな人材、伝統と文化を育むまちづくり～

学校施設の老朽化対策や設備強化等を進め、教育方法の多様化、ICT化への対応やふるさと学習の推進など、小中学校における教育システムの充実を図ります。また、誰もが楽しみながら自由に学習・スポーツを続けられる機会の増大を図るとともに、各学習・スポーツ施設の老朽化対策等を図ります。また、肝付町独自の伝統や文化、歴史資源の継承や、文化活動の後継者の育成等を進めるとともに、地域の歴史・文化を観光資源や学習教材としての活用を進めます。

基本目標⑤ 行財政・協働

～地域が核となり、協働型社会を実現するまちづくり～

行政運営における住民参画の仕組みを強化するとともに、地域コミュニティ協議会を中心としたこれからの地域づくりを担う組織や人材の育成を行うとともに、域内・域外、世代間、国際交流など様々な分野の交流事業の充実、拡大を進め、地域の活性化のための持続可能な組織づくりを行います。また、今後さらに財政事情が悪化することが予想されるため、一層の行財政の効率化や、公共施設等の規模の適正化などを進めます。



基本施策

(1)農業の振興 (2)畜産業の振興 (3)林業の振興 (4)水産業の振興

(1)六次産業化・農商工連携の促進 (2)地場産物のブランド化の推進

(1)販売戦略の強化 (2)地産地消の推進

(1)商工業の活性化 (2)市街地の町並み整備 (3)空き地・空き家・空き施設を活用した産業振興

(1)『宇宙の町』きもつきファンづくりの推進 (2)宇宙関連産業の誘致 (3)大学・研究機関との連携促進

(1)広域連携・受入体制の強化 (2)地域発信型観光の強化 (3)観光施設の整備・改善 (4)観光情報の収集・発信の強化

(1)エネルギーの地産地消の推進 (2)再生可能エネルギー活用の推進

(1)道路網の維持・改善 (2)河川・漁港施設・土地改良施設・公園等の維持・改善 (3)給排水施設の充実 (4)情報連携のためのデータ整備

(1)中山間地域における「小さな拠点」の形成 (2)地域公共交通の充実 (3)買物弱者の解消

(1)災害に強いインフラの整備 (2)防災活動拠点の強化と消防団活動の推進 (3)交通安全・防犯、消費生活支援の充実

(1)計画的な住宅の整備 (2)移住者の受け入れ支援の強化

(1)豊かな自然環境と共生するまちづくりの推進 (2)ごみ処理適正化の推進

(1)結婚応援戦略の実施 (2)出生率増加策の実施 (3)子育て支援・コスト削減策の実施

(1)地域包括ケアシステムの実現 (2)地域福祉の充実 (3)各種福祉制度の充実

(1)地域医療体制の充実 (2)健康づくり・生活習慣病予防の促進

(1)学校教育環境の整備 (2)多様な教育システムの充実 (3)ふるさと学習の充実

(1)生涯学習施設の充実 (2)社会教育活動の推進 (3)スポーツ活動の促進

(1)文化活動の充実・支援 (2)文化財、歴史資源の発掘・保全・活用

(1)コミュニティ組織の確立 (2)住民参加の仕組みづくりの推進

(1)域内・域外交流の充実 (2)世代間交流の促進 (3)国際交流の促進

(1)効果的・効率的な行政運営の推進 (2)財政運営の健全化 (3)公共施設等の規模の適正化の推進

5. 町民一人ひとりができること

	基本方針	町民一人一人ができること（抜粋）
経済・産業	◎農林水産業の振興	≫地場産品を積極的に消費し、地域の農林水産物のより一層の利用や、町外に向けてその良さをPRしよう。
	◎農林水産業の付加価値化	≫地元の特産品に関心を持ち、加工や販路拡大に関するセミナーや異業種交流会等に積極的に参加しよう。
	◎町内産物の販売・流通促進	≫新鮮で豊富な地域食材のおいしさを実感し、自然とともに“食の魅力”を発見しよう。
	◎中心市街地の活性化	≫所有物件が空き家、空き店舗になったときは、積極的に「空き家バンク」に登録し、活用を図ろう。
	◎宇宙のまちづくりの推進	≫「ウチノウラキモツキ共和国国民制度」の国民となり、町のことを町外にPRしよう。
	◎観光の振興	≫町民皆でおもてなしの心を持ち、町外からの来訪者に対してはやさしい声かけを心がけよう。
	◎再生可能エネルギー産業の活用	≫再生可能エネルギーを利用し、利用拡大に努めよう。
生活環境	◎生活環境の維持・改善	≫生活環境の維持のため、地域住民で助け合おう。（買物等）
	◎安心・安全なまちづくりの推進	≫町民一人ひとりが防災意識を高め、何時発生するかわからない自然災害に備えよう。
	◎良好な居住環境づくりの推進	≫空き家バンクを積極的に活用し、資源の有効活用を図ろう。
	◎豊かな自然環境や景観の保全	≫自分自身の生活の中で環境と共生する生活様式を取り入れよう。
保健・福祉	◎結婚・出産・子育て支援の充実	≫町内で実施する婚活イベントを盛り上げ、出会いを希望する場合は、積極的に参加しよう。
	◎誰もが暮らしやすい地域づくりの推進	≫地域包括ケアシステムの住民同士の支え合いの中で、自分自身ができることを考えよう。
	◎医療・健康づくり体制の充実	≫各種健診を積極的に受診しよう。
教育・文化	◎学校教育の強化	≫地域の「コミュニティ・スクール」に積極的にかかわり、より良い学校運営に貢献しよう。
	◎社会教育・生涯学習の充実	≫地域や地区公民館の行事等へ参加し、常に社会と関わる意識を持とう。
	◎地域文化の振興	≫地域にある文化財や歴史資源を大切にし、これからも残し続けよう。
行財政・協働	◎住民参画及び協働のまちづくりの推進	≫町民一人ひとりが地域の担い手という意識を持ち、地域を創造しよう。
	◎交流活動の充実	≫各種交流事業に積極的に参加しよう。
	◎行財政の効率化の推進	≫財政負担が増大しないように、町民一人ひとりができることを協力しよう。



第2次肝付町総合振興計画 概要版

平成28年10月発行

発行 肝付町

鹿児島県肝付郡肝付町新富98

TEL 0994-65-2511